



よいことの
ために
手を取りあおう



RI 会長：フランчесコ・アレツォ

2620 地区ガバナー：稲葉 雅之

会長：齋藤 高子 幹事：植山 和人 会場監督：妻鹿 政光

例会：毎週金曜日 19:00 ~ 20:00

グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中央区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006

E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2026年1月23日(金) 晴 第1719回例会 週報 NO. 19

司 会：鈴木とも子会場監督補佐
点 鐘：齋藤 高子 会長
ロータリーソング「我らの生業」
ソングリーダー 三輪久夫さん
「四つのテスト」唱和
池田浩也さん
シェークハンド・タイム

ゲスト

三浦 哲治 様

ビジター

浜松磐田信用金庫サッカー部

会長挨拶



今日は三輪会員の、で三浦哲治様にお越しいただいています。浜松磐田信用金庫からもたくさんの方に来ていただき、ありがとうございます。

今、大相撲初場所が行われています。私は相撲の大ファンで、特に朝乃が好きです。彼は三段目まで落ちたりけがもしたりしたのですが、再入幕もでき、勝ち越しもして一安心です。

中日には天皇陛下御一家が国技館にいらしていました。その前の天覧相撲は 2020 年の初場所でした。その頃は当日券で入場できていたのですが、コロナを経て強い力士も出てきたせいでしょうか、相撲人気が高まり、ここ1年は

ファンクラブに入っている、なかなか入場券が当たりません。ファンの力は本当にすごいと思います。

私もスポーツの仕事をしていいますが、お客様に店のファンになっていただかなくてはいけないと思って仕事をしています。今日は三浦様の「スポーツとビジネス」という話を参考にさせて頂きたいと思います。

幹事報告



- ・配布（レターケース）
ロータリーの友・IM チラシ
建国記念日チラシ

- ・回覧

ガバナー月信。Rotary-誌

- ・スリランカ・サイクロン「ディトワ」被害募金

- ・次回例会は28日水曜日
駐車場が込み合います。

次年度地区委員委嘱状

☆川井啓介さん



地区奉仕活動委員会副委員長

スマイル

♪齋藤高子さん、植山和人さん

本日は三輪さんご紹介でビックカズこと三浦知良先週の叔父にあたる三浦哲治様の卓話です。スポーツの勝ち負けがビジネスに繋がるという興味深い内容と聞いています。楽しみです。



♪三輪久夫さん

今日は私の友人であり、サッカー界のレジェンド三浦知良の叔父であり、静岡のサッカーを長年支えてこられた三浦哲治様の卓話です。皆様楽しみにしてください。



卓話「スポーツとビジネス」

☆ゲスト紹介・・・三輪久夫さん
私の飲み仲間の三浦さんは非常にお忙しい方です。主なサッカー歴は、静岡学園高校出身、サッカー選手としていろいろな大会で優勝、また団体の理事や公職なども歴任しています。現在は兵庫県の高校で指導をしています。



今日はスポーツの体験はビジネスにつながるということを自分の体験や友人との関わりなどを交えて話していこうと思います。自慢になってしまうかもしれませんが、私のスポーツの人生も話のエキシになっています。軸は「強いチーム作りのため人材育成とリーダーの役目」と「スポーツの価値」についてです。

60年前、サッカーはまだメジャースポーツではありませんでした。私も最初は野球をしていましたが、「これらは世界に出るならサッカーだ」と、三浦知良の父親に言われてサッカーを選びました。先を読んで世の中を変えて行く、人に押されられてもぶれない精神を持っている、スポーツでもビジネスの観点でも、知良の父親はそういう人でした。それで私もサッカーを続けました。

日本代表として海外の試合に行きましたが、当然のことに外国のチームには歯が立ちません。世界はとても無理だと、サッカーは大学でやめて働くことにしました。就職して海外事業部に所属し、その頃初めてのボジョレーヌーボーを売り出すような仕事をしていました。人のやらないことをやるのが好きでした。

日本でプロリーグができるといううわさが流れ、1994年、静岡産業大学サッカー部の監督を受けることになりました。そこでサッカーをやっても、東京の大学に勝てるわけではない。どうするか考えました。その頃、大学時代の先輩や同期の選手がかなりヤマハ発動機にいたので、協力が期待できると思いました。集まってきた学生はあまり熱心ではなかったのですが、選手ができない時には選手に怒るのではなく、常に自分に矢印を向ける。自分の指導が悪かったと思う。そう思わないとやって

いられない。選手ができないのは監督の責任、監督が学ばなければならぬということ学びました。10年くらいしたら結果が出てきました。その背景にはジュビロや大学の協力がありました。

2002年のワールドカップの時は静岡産業大学が日本代表のベストマッチの相手に選ばれました。毎回試合をしました。その時はどこにも漏らしてはいけないと臆口令がしかれましたが、こういうことも、スポーツを通じて学んだと思います。スポーツで養った力で大学の枠に縛られず、社会と接していく。2〜3年ではなく、忍耐強く10年20年の長いスパンで考えることが大事です。

そうこうしているうちに磐田で女子サッカーをやりたいと市長に言われました。女子サッカーにはあまり乗り気ではありませんでしたし、周りも私同様、反対意見が多くありました。でも、世界の情報を見て、女子サッカーに勝算がある、女子サッカーの文化を作ろうと思いました。

大学の枠を超えて社会と触れ合う。言葉ではなく環境を与えること。それが人を育てる。大きなポイントだと思います。

組織づくり、マネジメントも大切です。意外に皆さん気づいてないですが、日本代表の森保監督もドーハの時には試合に出ていました。代表選手としてはカリスマ性がないようです。監督としての彼は最初、癖のある選手は外していたのでなかなか勝てませんでした。でも、そういう選手も上手に使わないと勝てないことに気づいて、自分の足りないところをスタッフのリレーションシップで補うというマネジメントをしました。そしてアジア最強の強いチームを作りました。今の時代は「俺についてこい」ではなく、「選手と共に」というスタンスです。ただ、選手と友達になってしまうのは良くなく、カリスマを持たないとだめです。そして「No」という相手を説得する知識や勉強が必要です。彼は「もっと日本のためのサッカーを」、それから「世界視野で日本にどう還元するか」。それを

強く思っていると思います。

マネジメントの次には、現状把握が大事です。分析を間違えると大変なことになってしまいます。例えば、「失点した」というのは守備が悪いというだけでなく、攻撃でどうすればよかったかを分析すると、次の試合で大きく変わります。

ルールの中ぎりぎりのところで差別化の選択をしないといけません。ゾーンの外にはいろいろな変化があります。私はサッカーの監督としてマネジメントもしないといけなかったのも、サラリーマン生活も役に立ちました。

チームビルディングとは組織づくりで、経営とそんなに変わらないと思います。チームプレイばかり練習してもベクトルは上がりません。個を伸ばさないとチームは変わっていかないので。「個性」は考え方で、試合だけでなく、ヒエラルヒーというのはスポーツではかなりあります。ある選手が力を持ちすぎると、みんなを引き連れて監督に造反し、試合に負けるということもあります。勝ち負けはすべて学ぶことがあります。

伝えることは難しさがありますが大切なことです。私はハーフタイムに言うことは3つと決めていました。シンプルな言葉で、情熱を持ち、立ち振る舞いで信頼を得ることを考えました。

リクルートは強い組織づくりに必要です。でも魅力あるチーム作りをしなければスカウト活動をいくらしても意味はありません。選手が自ずと集まってくるような魅力をチームが持つことです。

スクラップ&ビルトは難しいです。ビルトは簡単ですが、今あるものを壊すのは難しいです。そして、リーダは常に学び続けられないといけません。いくら勉強会や研修に行っても、それだけで選手が伸びるわけではありません。分析の目を持つことが必要です。ある研修会では「学ぶことを止めたなら指導者を止める」と言われました。知識は無いといけませんが、それをどうやってアウトプットするかが大事です。選手ができないのは指導者の責任です。それはいつも

強く思っています。

デュアルキャリアは、人生が豊かになるために、企業でもやった方が良いです。人生100年と言われ、定年後の30年40年をどうするか考えないといけないのです。ある人に「60は成人式と思え」と言われてふと思いました。早期退職制度もそれを考える目的で行っている企業もあると聞いています。

スポーツの価値は人間力、精神力です。最後までぶれずにやって結果を出すのが真の根性で、ただ「頑張りました」だけではないのです。三浦知良についても賛否両論あって、彼がいるから出られない選手もいると言う人もいます。でも、それはカズの責任じゃないと思います。

運動とスポーツの違い。運動はヨガとかエクササイズのようなもので、スポーツには勝ち負けがあります。

プロスポーツビジネスについては、日本は大変です。する・見る・支えることの経済効果、日本はスポーツの活用がまだまだです。今日は皆さんとこういう話をして、浜松や静岡でも活用できれば良いと思っています。

強いチーム作りは強い精神力のあるリーダーが必要です。それから分析を間違えないこと。トレーニングでは気づかせたり褒めたりし、コーチング（促す）とティーチング（教える）も分けて考えます。

最後は人間力、精神力が大事です。スポーツを通じて育てることで、世の中が良くなり、一人ひとりが幸せになる。そうすれば社会も良くなると信じています。

スポーツバカの私としてはスポーツの力で経済を回し、スポーツの力で日本のため、経済のための活動ができれば嬉しいと思います。





SAA 鈴木とも子さん

出席報告

発表：渡辺 豪 出席委員

会員数	41名
出席者数	34名
出席算定会員数	26名
出席率	76.47%

前々回出席者数
27名

前々回出席率
77.14%



浜松江之島高校

ポスターコンクール表彰式

日時 2026年1月14日（水）

場所 クリエイト浜松

*会長挨拶



*賞状授与



*校長先生ご挨拶



*集合写真

